

**【表紙】**

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2020年2月10日
【四半期会計期間】	第47期第3四半期（自 2019年10月1日 至 2019年12月31日）
【会社名】	株式会社メイテック
【英訳名】	MEITEC CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 國分 秀世
【本店の所在の場所】	名古屋市西区康生通二丁目20番地1 （上記は登記上の本店所在地であり、実際の本社業務は下記の東京本社において行っております。）
【電話番号】	052（532）1811
【事務連絡者氏名】	経理部長 山下 徹
【最寄りの連絡場所】	東京都台東区上野一丁目1番10号 （東京本社）
【電話番号】	03（6778）5022
【事務連絡者氏名】	経理部長 山下 徹
【縦覧に供する場所】	株式会社メイテック 東京本社 （東京都台東区上野一丁目1番10号） 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第46期 第3四半期 連結累計期間	第47期 第3四半期 連結累計期間	第46期
会計期間	自 2018年4月1日 至 2018年12月31日	自 2019年4月1日 至 2019年12月31日	自 2018年4月1日 至 2019年3月31日
売上高 (百万円)	73,339	75,149	97,736
経常利益 (百万円)	10,296	9,900	12,643
親会社株主に帰属する四半期 (当期)純利益 (百万円)	7,022	6,702	8,829
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	7,210	6,897	8,974
純資産額 (百万円)	40,615	41,954	42,371
総資産額 (百万円)	68,151	70,664	74,615
1株当たり四半期(当期)純利 益金額 (円)	250.63	241.77	315.43
潜在株式調整後1株当たり四半 期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	59.59	59.37	56.79

回次	第46期 第3四半期 連結会計期間	第47期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自 2018年10月1日 至 2018年12月31日	自 2019年10月1日 至 2019年12月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	112.42	98.98

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社及び当社の関係会社が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社に異動はありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 財政状態及び経営成績の状況

当第3四半期連結累計期間（9ヶ月間：2019年4月1日～2019年12月31日）においては、当社の主要顧客である大手製造業各社で、景況に左右されることなく次代を見据えた技術開発投資を持続されていることから、堅調な受注環境の下、稼働人員数は順調に増加しました。今年度特有の祝日等による稼働日数減少や、時間外労働減少による稼働時間の低下等の影響もありましたが、概ね公表予想通りの進捗となりました。

その結果、連結売上高は、前年同期比18億10百万円(2.5%)増収の751億49百万円となりました。連結売上原価は、エンジニア社員数の増員による労務費の増加等を主因に前年同期比14億54百万円(2.7%)増加の547億9百万円、連結販売費及び一般管理費は、一時的なシステム費用の増加等により、前年同期比7億77百万円(7.9%)増加の105億72百万円となりました。

連結営業利益は、前年同期比4億22百万円(4.1%)減益の98億67百万円、連結経常利益は、前年同期比3億95百万円(3.8%)減益の99億円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比3億19百万円(4.6%)減益の67億2百万円となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりです。

#### エンジニアリングソリューション事業

連結売上高の9割超を占めるエンジニアリングソリューション事業、特に中核事業のエンジニア派遣事業においては、稼働人員数の増加を主因に、売上高は、前年同期比18億29百万円増収の739億65百万円となりましたが、稼働日数の減少および稼働時間低下等の影響で2.5%の増加に留まりました。営業利益は、一時的なシステム費用の増加等もあり、前年同期比3億72百万円(3.8%)減益の95億26百万円となりました。

当社単体の稼働率（全体）は95.9%（前年同期97.1%）となり、前年同期比で減少しました。稼働時間については大手企業の働き方改革の取り組み等により時間外労働が減少し、8.51h/day（前年同期8.60h/day）と低下しました。

#### エンジニア紹介事業

エンジニアに特化した職業紹介事業を行っている株式会社メイテックネクストにおいては、紹介決定数の減少により、売上高は、前年同期比38百万円(3.0%)減収の12億62百万円、営業利益は前年同期比49百万円(12.7%)減益の3億40百万円となりました。

（注） 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

当第3四半期連結会計期間末（2019年12月31日）の資産合計は、前連結会計年度末（2019年3月31日）比で39億51百万円減少し、706億64百万円となりました。これは、流動資産が前連結会計年度末比で37億8百万円減少した事が要因です。

なお、流動資産の減少は現金及び預金の減少などが主因です。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末比で35億34百万円減少し、287億10百万円となりました。これは、流動負債が前連結会計年度末比で39億3百万円減少した事が要因です。

なお、流動負債の減少は賞与の支払による賞与引当金の減少などが主因です。

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末比で4億17百万円減少し、419億54百万円となりました。これは、当期の経営成績の結果による親会社株主に帰属する四半期純利益の獲得に、配当金の支払及び自己株式の取得の影響が相殺された事などが主因です。

#### (2) 経営方針・経営戦略等

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが定めている経営方針・経営戦略について重要な変更はありません。

#### (3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

#### (4) 研究開発活動

該当事項はありません。

### 3【経営上の重要な契約等】

特記すべき事項はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	142,854,400
計	142,854,400

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (2019年12月31日)	提出日現在発行数 (株) (2020年2月10日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	29,300,000	29,300,000	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数 100株
計	29,300,000	29,300,000	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

###### 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

###### 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
2019年10月1日～ 2019年12月31日	-	29,300,000	-	5,000	-	1,250

##### (5)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6)【議決権の状況】  
【発行済株式】

2019年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 1,699,200	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 27,538,200	275,382	-
単元未満株式	普通株式 62,600	-	一単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	29,300,000	-	-
総株主の議決権	-	275,382	-

(注) 1 「完全議決権株式(その他)」の「株式数」の欄には、証券保管振替機構名義の株式1,400株が含まれております。また、「議決権の数」の欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数14個が含まれております。

2 「単元未満株式」の「株式数」の欄には、当社所有の自己株式47株が含まれております。

【自己株式等】

2019年12月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
株式会社メイテック	名古屋市西区康生通二丁目 20番地1	1,699,200	-	1,699,200	5.80
計	-	1,699,200	-	1,699,200	5.80

2【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（2007年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（2019年10月1日から2019年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	45,052	41,171
受取手形及び売掛金	13,884	13,811
仕掛品	170	465
その他	931	881
貸倒引当金	2	2
流動資産合計	60,036	56,328
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,601	3,566
その他(純額)	1,801	1,795
有形固定資産合計	5,402	5,362
無形固定資産		
その他	742	630
無形固定資産合計	742	630
投資その他の資産		
繰延税金資産	7,640	7,555
その他	806	799
貸倒引当金	14	12
投資その他の資産合計	8,433	8,342
固定資産合計	14,579	14,335
資産合計	74,615	70,664
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払法人税等	2,272	1,073
役員賞与引当金	233	168
賞与引当金	7,697	3,902
その他	6,723	7,878
流動負債合計	16,927	13,023
固定負債		
退職給付に係る負債	15,317	15,686
固定負債合計	15,317	15,686
負債合計	32,244	28,710
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	9,198	9,198
利益剰余金	35,469	36,562
自己株式	5,495	7,198
株主資本合計	44,173	43,561
その他の包括利益累計額		
土地再評価差額金	662	662
退職給付に係る調整累計額	1,139	945
その他の包括利益累計額合計	1,802	1,607
純資産合計	42,371	41,954
負債純資産合計	74,615	70,664

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	73,339	75,149
売上原価	53,255	54,709
売上総利益	20,084	20,439
販売費及び一般管理費	9,794	10,572
営業利益	10,289	9,867
営業外収益		
受取利息	1	1
助成金収入	-	25
その他	10	13
営業外収益合計	12	39
営業外費用		
コミットメントフィー	1	1
支払手数料	3	2
その他	1	2
営業外費用合計	5	6
経常利益	10,296	9,900
特別利益		
投資有価証券売却益	11	-
その他	0	-
特別利益合計	11	-
特別損失		
減損損失	11	-
固定資産除却損	1	2
特別損失合計	12	2
税金等調整前四半期純利益	10,294	9,898
法人税等	3,272	3,195
四半期純利益	7,022	6,702
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,022	6,702

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	7,022	6,702
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	0	-
退職給付に係る調整額	188	194
その他の包括利益合計	188	194
四半期包括利益	7,210	6,897
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,210	6,897
非支配株主に係る四半期包括利益	0	-



【注記事項】

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
減価償却費	401百万円	410百万円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年6月21日 定時株主総会	普通株式	2,889	102.50	2018年3月31日	2018年6月22日	利益剰余金
2018年11月6日 取締役会	普通株式	2,344	84.00	2018年9月30日	2018年11月30日	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年6月20日 定時株主総会	普通株式	3,223	115.50	2019年3月31日	2019年6月21日	利益剰余金
2019年11月7日 取締役会	普通株式	2,387	86.50	2019年9月30日	2019年11月29日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計
	エンジニアリング ソリューション事業	エンジニア 紹介事業	
売上高			
外部顧客への売上高	72,132	1,207	73,339
セグメント間の内部売上高又は振替高	3	94	97
計	72,135	1,301	73,437
セグメント利益	9,899	390	10,289

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の  
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	10,289
セグメント間取引消去	-
四半期連結損益計算書の営業利益	10,289

当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計
	エンジニアリング ソリューション事業	エンジニア 紹介事業	
売上高			
外部顧客への売上高	73,958	1,191	75,149
セグメント間の内部売上高又は振替高	7	71	78
計	73,965	1,262	75,228
セグメント利益	9,526	340	9,867

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の  
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	9,867
セグメント間取引消去	-
四半期連結損益計算書の営業利益	9,867

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額	250円63銭	241円77銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額 (百万円)	7,022	6,702
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純 利益金額(百万円)	7,022	6,702
普通株式の期中平均株式数(千株)	28,020	27,724

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2【その他】

2019年11月7日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 配当金の総額 2,387百万円

(ロ) 1株当たりの金額 86円50銭

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日 2019年11月29日

(注) 2019年9月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払を行いました。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年2月7日

株式会社メイテック  
取締役会 御中

### 有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 森 田 浩 之

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 鈴 木 努

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社メイテックの2019年4月1日から2020年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（2019年10月1日から2019年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社メイテック及び連結子会社の2019年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2 XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。